

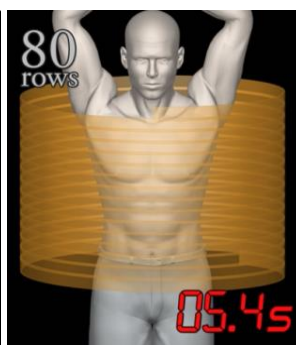
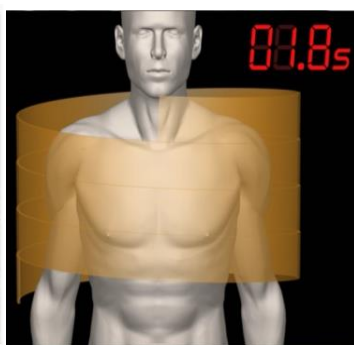
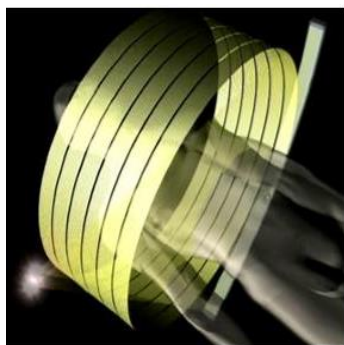
# 患者さんにやさしい 高性能80列CT装置を使用しています！

## Aquilion Prime SP

当院に導入しているCTは最高水準の80列CT装置ですので、全身で有用な画像を提供できます。詳しい検査内容は、当院までお問い合わせください。



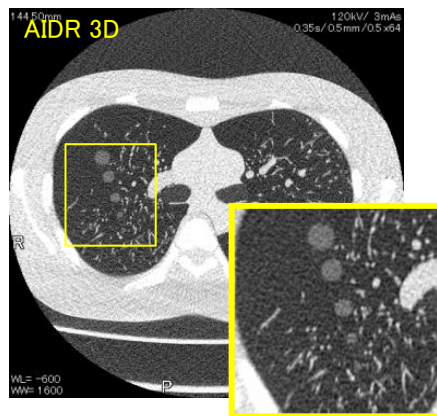
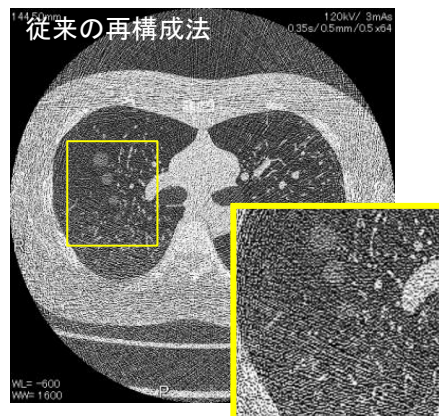
### ■従来のCT装置に比べて、高速撮影が可能です



**胸部**  
【80列CT:1.8秒】  
範囲:300mm

**頸部～骨盤**  
【80列CT:5.4秒】  
範囲:800mm

### ■従来のCT装置に比べて、低被ばく検査が実現可能です。



最新の画像再構成技術 ADR 3Dにより、低線量撮影時に発生するノイズを大幅に改善、従来に比べて**最大75%の被ばく低減**を実現します。

### ■広い開口径と低い寝台による、優しいガントリ設計です。

CTガントリの開口径がクラス最大の78cmとなったことで、患者さんへの窮屈感を低減しております。MRIで閉所恐怖症の患者さんもCTでは問題なく検査いただいております。また、寝台が床から40cmほどの高さまで下がるため、ストレッチャーからの搬送、車椅子からの乗降りが非常に楽になっております。



倉敷中央病院附属 予防医療プラザ

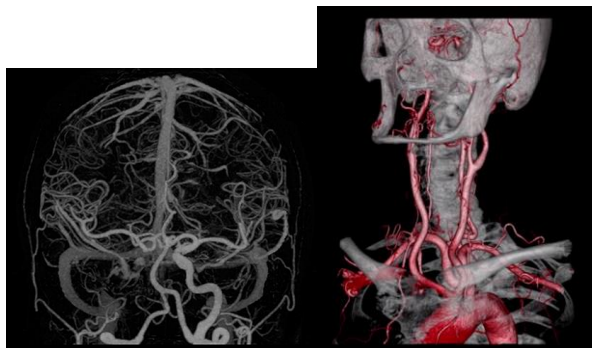
## 頭頸部領域

(CT検査の位置付け)

- ・急性期くも膜下出血、脳内出血の診断に用いられるべき画像検査
- ・出血の除外
- ・未破裂脳動脈瘤の診断のスクリーニング

(目的)

- ・脳出血、くも膜下出血、脳梗塞などの評価
- ・頭蓋内脳動脈病変(脳動脈瘤、脳動脈奇形、狭窄病変など)の精査、周囲血管との関係把握、手術支援



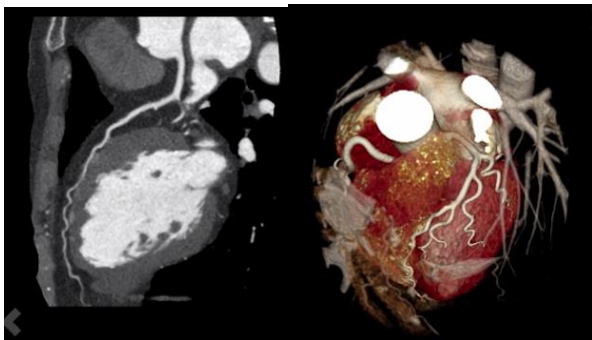
## 循環器領域

(CT検査の位置付け)

- ・胸痛がある場合の冠状動脈の解剖評価
- ・バイパスグラフト術後の評価

(目的)

- ・冠状動脈の器質的狭窄病変の存在およびバイパスグラフトの開存診断



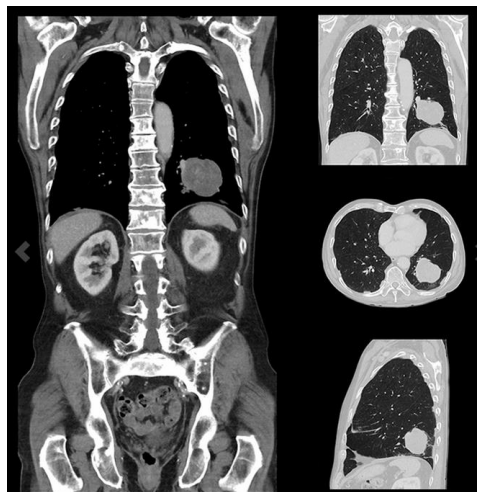
## 胸腹部領域

(CT検査の位置付け)

- ・肺癌検出を目的として、あるいは胸部X線写真で異常がある場合
- ・肺結節の良悪性の鑑別
- ・食道癌、胃癌、大腸癌、肝癌術前術後フォロー
- ・急性膵炎の診断、腎嚢胞性腫瘍の良悪性の評価

(目的)

- ・腹部から骨盤部にかけての異常所見の検出
- ・悪性腫瘍のスクリーニング
- ・腫瘍の血行動態



## 整形領域

(CT検査の位置付け)

- ・関節内骨折に対し、診断や治療方法の選択に有効で、再現性に優れている・3DCTAにより正確に評価を行える

(目的)

- ・骨折の評価、骨軟骨損傷の評価、石灰化の描出、術前シミュレーション

